

## 教育研究業績概要

氏名 藤原 朋也 ( )		
研究分野	所属学会等の名称	
有機化学, 薬学教育, 有機合成化学, 創薬化学	日本薬学会, 日本化学会, 日本薬学教育学会, 有機合成化学協会, 日本フッ素化学会	
担当授業科目名		
化学基礎 I, 医療人底力実践 I, 化学基礎 II, 薬学総合演習, 薬学特別演習 I, 薬学特別演習 II		
教育上の能力に関する事項		
事項	年	概要
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業で工夫していること	2021	初年次生を対象とする化学教育を実施している(分担)。演習、課題等を用いて、高校化学を振り返りながら大学化学を学ぶために必要な知識の修得を促している。また、学習習慣を維持・向上させる取り組みも行なっている。
2 作成した教科書、教材、指導書等 「化学基礎 I」演習資料(鈴鹿医療科学大学) 「機器分析」講義資料(富山大学) 「化学系実習(有機化学)」実習資料(富山大学)  その他 3 編	2021 2009~2020 2003~2020	本演習で使用する教材(小テスト、スライド等)を作成した(分担)。本講義で使用する教材(スライド、小テスト等)を作成した(分担)。本実習で使用する教材(テキスト、スライド、小テスト等)を作成した(分担)。
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等 「スーパーサイエンスハイスクール」非常勤講師(科学技術振興機構) 「日本・アジア青少年サイエンス交流事業・さくらサイエンスプラン」実習担当講師(科学技術振興機構)	2014~2016  2015	富山中部高等学校 2 年次生を対象とする課題研究指導を行なった(分担)。 中国・瀋陽薬科大学の学生を対象とする体験実習指導を行なった(分担)。
職務上の実績(学術団体や社会等における活動)に関する事項		
事項	年	概要
1 資格、免許、特許、受賞等 (資格) 特定化学物質等作業主任者資格	2004	授与権者; 富山県労働基準協会会長。技能講習修了証第 030-0532 号。特定化学物質を使用する実験・実習の作業主任を担当できる。
(特許) ヨードベンズアミド型アルコール酸化触媒	2018	特許第 6434261 号。発明者: 矢倉隆之, 南部寿則, 藤原朋也(他 2 名)。2-ヨードベンズアミド構造を持つアルコール酸化触媒に関する特許。
スルホニルを有するフィトスフィンゴシン誘導体	2016	国際公開番号 WO 2016072452 A1。発明者: 矢倉隆之, 安東嗣修, 藤原朋也(他 2 名)。スルホニル構造を持つフィトスフィンゴシン誘導体のアトピー性皮膚炎治療薬としての有用性に関する特許。
新規なカンプトテシン誘導体	2013	国際公開番号 WO 2013094581 A1。発明者: 竹内義雄, 八重樫隆, 藤原朋也(他 3 名)。抗腫瘍薬カンプトテシンとオキサリプラチンをハイブリッドした化合物の抗腫瘍薬としての有用性に関する特許。
その他 4 件		
(受賞) Outstanding Contribution in Reviewing for Journal of Fluorine Chemistry	2017	授与権者; The editors of Journal of Fluorine Chemistry (Elsevier)。学術雑誌「Journal of Fluorine Chemistry」における査読者としての貢献に対して与えられた。
その他 1 件		

(その他) 富山医科薬科大学 薬学部 助手 富山大学 薬学部 助手 富山大学 大学院医学薬学研究部 (薬学) 助手 富山大学 大学院医学薬学研究部 (薬学) 助教 富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 助教 鈴鹿医療科学大学 薬学部 准教授	2003～2005 2005～2006 2006～2007 2007～2019 2019～2021 2021～現在	任命権者；富山医科薬科大学長 任命権者；富山大学長 任命権者；富山大学長 任命権者；富山大学長 任命権者；富山大学長 任命権者；鈴鹿医療科学大学理事長
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 「The Third International Symposium on Toyama-Asia-Africa Pharmaceutical Network (3rd TAA-Pharm Symposium)」運営委員 (日本学術振興会, 富山大学)  「第 43 回反応と合成の進歩シンポジウム」運営委員 (日本薬学会化学系薬学部会)  「平成 27 年度有機合成化学北陸セミナー」運営委員 (有機合成化学協会関西支部)  その他 2 件	2018  2017  2015	シンポジウム (国際) の運営に携わった (分担)。  シンポジウム (国内) 運営に携わった (分担)。  セミナー (国内) の運営に携わった (分担)。

**研究業績等に関する事項**

著書名, 報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) ・ Practical and environmentally friendly transformation of tetrahydrofuran-2-methanols to $\gamma$ -lactones via oxidative cleavage  ・ Magnetic nanoparticle-supported iodoarene oxidative catalysts and its application to phenol oxidation  ・ 十字路「Oxone®」	共著  共著  単著	2017  2017  2017	<i>New Horizons of Process Chemistry: Scalable Reactions and Technologies</i> , Kiyoshi Tomioka, Shioiri Takayuki, Hironao Sajiki, Eds., Springer.  <i>New Horizons of Process Chemistry: Scalable Reactions and Technologies</i> , Kiyoshi Tomioka, Shioiri Takayuki, Hironao Sajiki, Eds., Springer.  有機合成化学協会誌	Fujiwara T., Nambu H., Yakura T. (他 2 名), Chapter 13 (pp. 179–190).  Nambu H., Fujiwara T., Yakura T. (他 1 名), Chapter 9 (pp. 121–129).  Fujiwara T., 75, 264 (2017).
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) ・ Synthesis of sphingosine-related azetidine alkaloids, penaresidins: construction of highly substituted azetidine rings ・ [4-Iodo-3-(isopropylcarbamoyl)phenoxy]acetic acid as a highly reactive and easily separable catalyst for the oxidative cleavage of tetrahydrofuran-2-methanol to $\gamma$ -lactones			Fujiwara T., Yakura T.  Yakura T., Fujiwara T., Nambu H. (他 2 名)	<i>Heterocycles</i> , <b>101</b> , 383–406 (2020).  <i>Synlett</i> , <b>29</b> , 2316–2320 (2018).

<ul style="list-style-type: none"> <li>Divergent total synthesis of penaresidin B and its straight side chain analogue</li> </ul> <p>その他 34 編 (英文 33 編, 和文 1 編)</p>	<p><u>Fujiwara T.</u>, Nambu H., Yakura T. (他 5 名)</p>	<p><i>Tetrahedron</i>, <b>74</b>, 1059–1070 (2018).</p>
<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2-ヨードベンズアミド触媒を用いるピロリジン-2-メタノールから <math>\gamma</math>-ラクタムへの酸化開裂反応</li> <li>ロジウム(II)触媒 O-イリド形成-転位および C-H アミノ化反応によるフラノン部構築を経る抗トリパノソーマ活性天然物 actinoallolide A マクロラクトン部の合成研究</li> <li>Divergent total synthesis of heterocycle-containing sphingosine related natural products, pachastrissamine and penaresidin B</li> </ul> <p>その他 196 件 (国際学会 52 件, 国内学会 144 件)</p>	<p><u>藤原朋也</u>, 南部寿則, 矢倉隆之 (他 2 名)  南部寿則, <u>藤原朋也</u>, 矢倉隆之 (他 1 名)  <u>Fujiwara T.</u>, Liu B., Yakura T.</p>	<p>日本薬学会第 141 年会, 2021, オンライン.  反応と合成の進歩 2020 特別企画シンポジウム, 2020, オンライン.  The Second International Symposium on Toyama-Asia-Africa Pharmaceutical Network (2nd TAA-Pharm Symposium), 2017, 済南, 中国.</p>